

タクシーを活用した高齢者の 外出支援策についての検討結果

主席研究員 福本 雅之

2018/6/13
第81回まちべん

研究の背景

高齢ドライバーによる事故が社会問題に

日常生活に制約が生じるとの理由から進まない免許返納

地方都市では鉄道・バスが充実していない

ドアトゥードアの移動利便性を提供する交通サービスの提供が必要！

・・・ライドシェア？たすけあい？？

→タクシーは？

研究の目的

- ① 豊田市における高齢者のタクシー利用実態の把握
- ② 高齢者の移動実態の把握
- ③ 高齢者へのタクシー利用意向の把握

タクシーを活用した
高齢者への外出支援策の可能性について検討

① 豊田市における 高齢者のタクシー利用実態

調査方法

名鉄東部交通、豊栄交通のご協力を得て

① デジタコデータから豊田市のタクシー利用実態を把握

対象車両数	143両 豊田市内に営業所を持つタクシー事業者の保有台数に占める割合は59.8%
データ取得時期	2016/8/1～2017/7/31
データ件数	800,982

② 利用者アンケートにより高齢者の利用実態の詳細を把握

調査時期	2017/7/25（火）、7/26（水） 原則8～18時台
天候	両日とも曇
調査車両台数	2日間でのべ42両 (1日目 名鉄13/豊栄10 2日目 名鉄12/豊栄7)
配布回収状況	合計配布回収枚数 557枚

タクシーの利用実態について調査を行っています ご協力をお願いいたします

- 調査は**ビンゴカード式**になっております。各設問に対して**もっとも当てはまるもの一つ**を折り曲げてください。
- **お降りの際に運転手にお渡し願います。**
- 調査に**協力したくない場合**には、この調査表をそのまま**運転手にお返しください。**
- 全ての利用を把握する目的ですので、**以前のご乗車でお答えになった方も**、お手数ですが**ご回答をお願いします。**
- **複数人でご乗車の場合、代表の方お一人**がご回答をお願いします。
- 本調査の結果は統計的に処理します。**回答内容や個人情報**の取り扱いについては**十分留意**し、目的以外には**利用しません**ので、ぜひ、調査にご協力ください。

ご不明な点などがございましたら

0565-31-7543

公益財団法人豊田都市交通研究所（担当:福本）
までご連絡ください。

この調査はタクシーの利用実態に関する研究を行うために、**タクシー会社の協力を得て、公益財団法人豊田都市交通研究所と豊橋技術科学大学（都市・交通システム研究室）が合同で実施している**ものです。

本日のタクシー利用についてお答えください

番号欄

① 今回乗車された理由は何ですか？

（これから帰宅される場合は、直前のご用事をお答えください）

買い物	通院	仕事出張	役所銀行	余暇 娯楽	その他
-----	----	------	------	----------	-----

② 今日往復ともタクシーを使いますか？

往復 タクシー	片道は 電車	片道は バス	片道は 送迎	片道は 徒歩
------------	-----------	-----------	-----------	-----------

③ タクシーに乗った時刻

(朝) 6・7 時台	(朝) 8・9 時台	(午前) 10・11 時台	どれでもない
------------------	------------------	---------------------	--------

(昼) 12・13 時台	(午後) 14・15 時台	(夕方) 16・17 時台	(夜) 18・19 時台
--------------------	---------------------	---------------------	--------------------

④ 他の交通手段からタクシーに乗り継ぎましたか？

鉄道 (名鉄・愛環)	高速バス 空港バス	路線 バス	その他	乗継して いない
---------------	--------------	----------	-----	-------------

⑤ 乗った場所

自宅	病院	飲食店 買い物先	駅	取引先	その他
----	----	-------------	---	-----	-----

⑥ 降りる場所

自宅	病院	飲食店 買い物先	駅	取引先	その他
----	----	-------------	---	-----	-----

⑦ タクシーを降りてから他の交通手段に乗り継ぎますか？

鉄道 (名鉄・愛環)	高速バス 空港バス	路線 バス	その他	乗継が ない
---------------	--------------	----------	-----	-----------

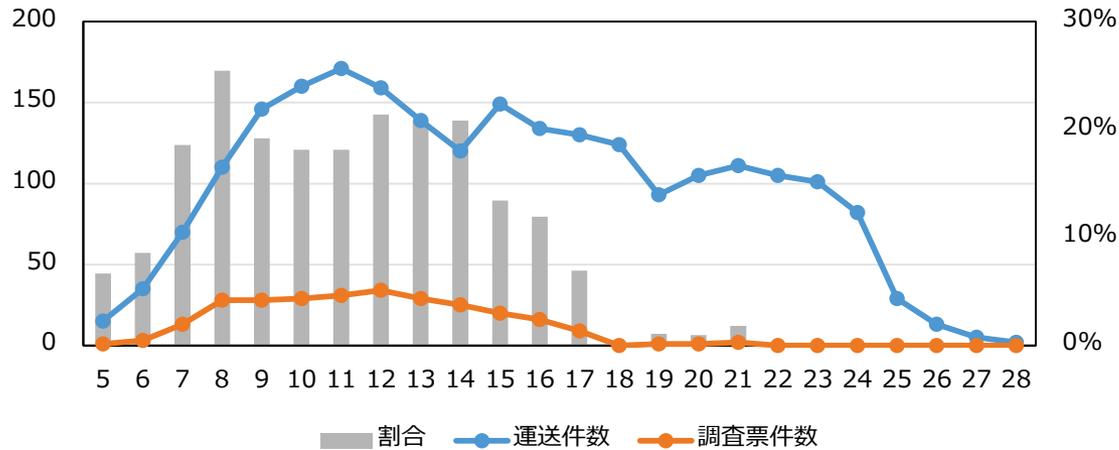
男性	女性	18歳 未満	19～40 歳	41～64 歳	65～74 歳	75歳 以上
----	----	-----------	------------	------------	------------	-----------

⑧ 性別

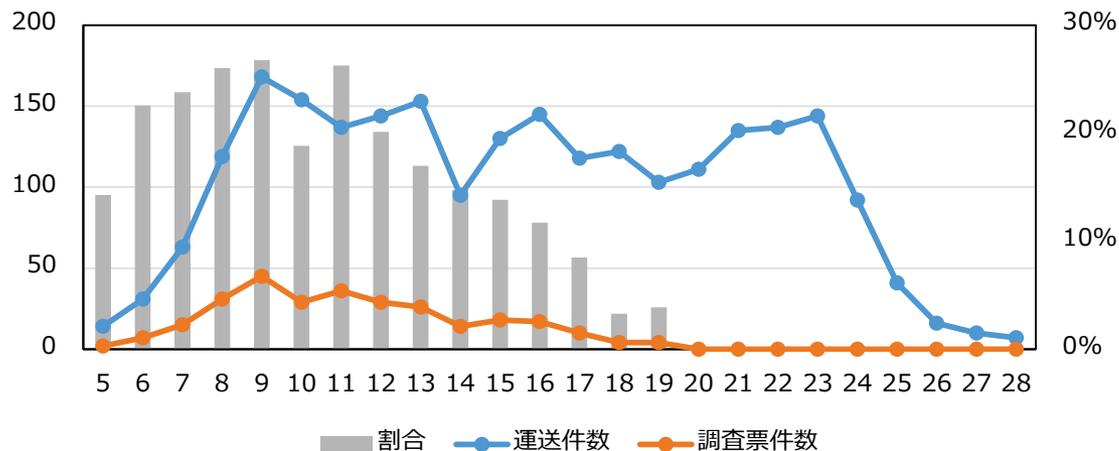
⑨ 年齢

利用者に占めるアンケートの割合

2017/7/25

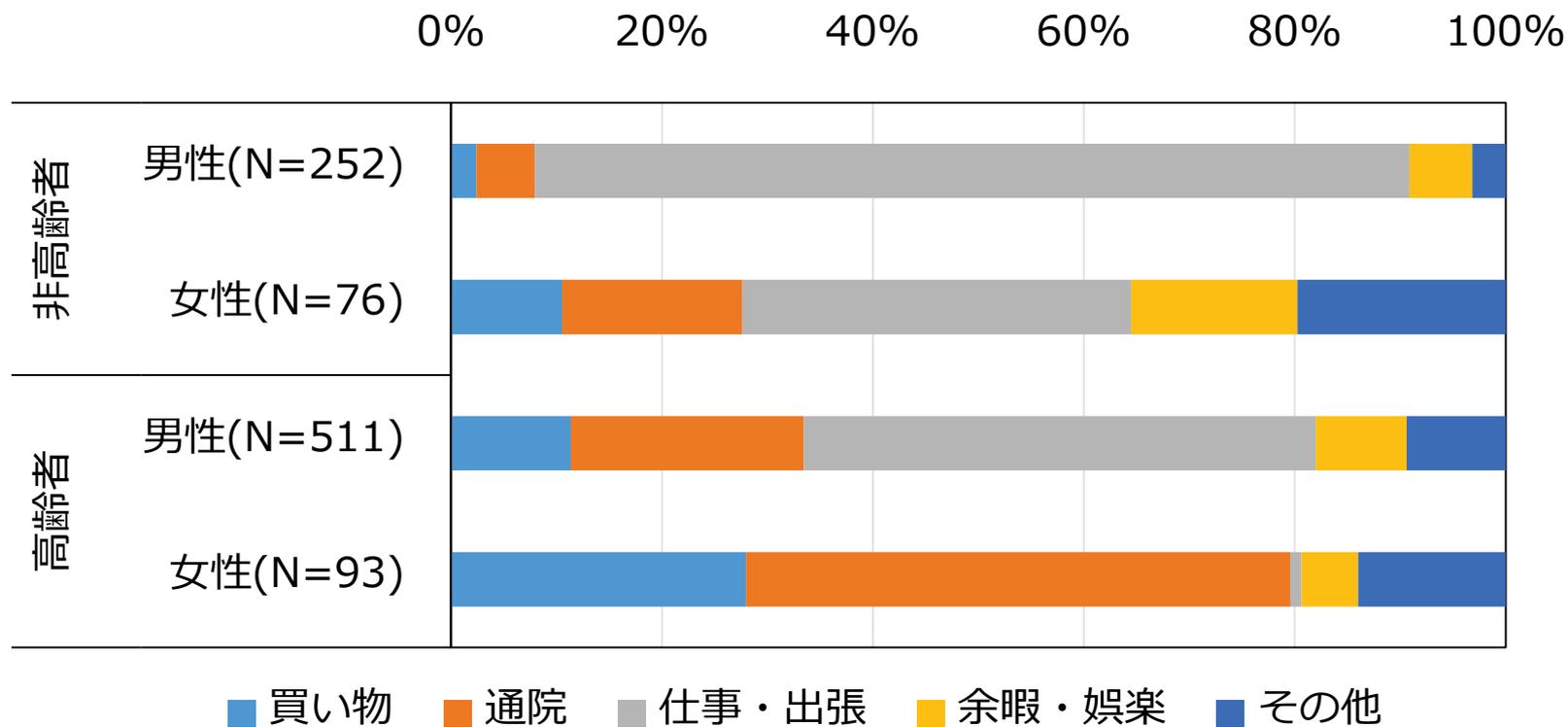


2017/7/26



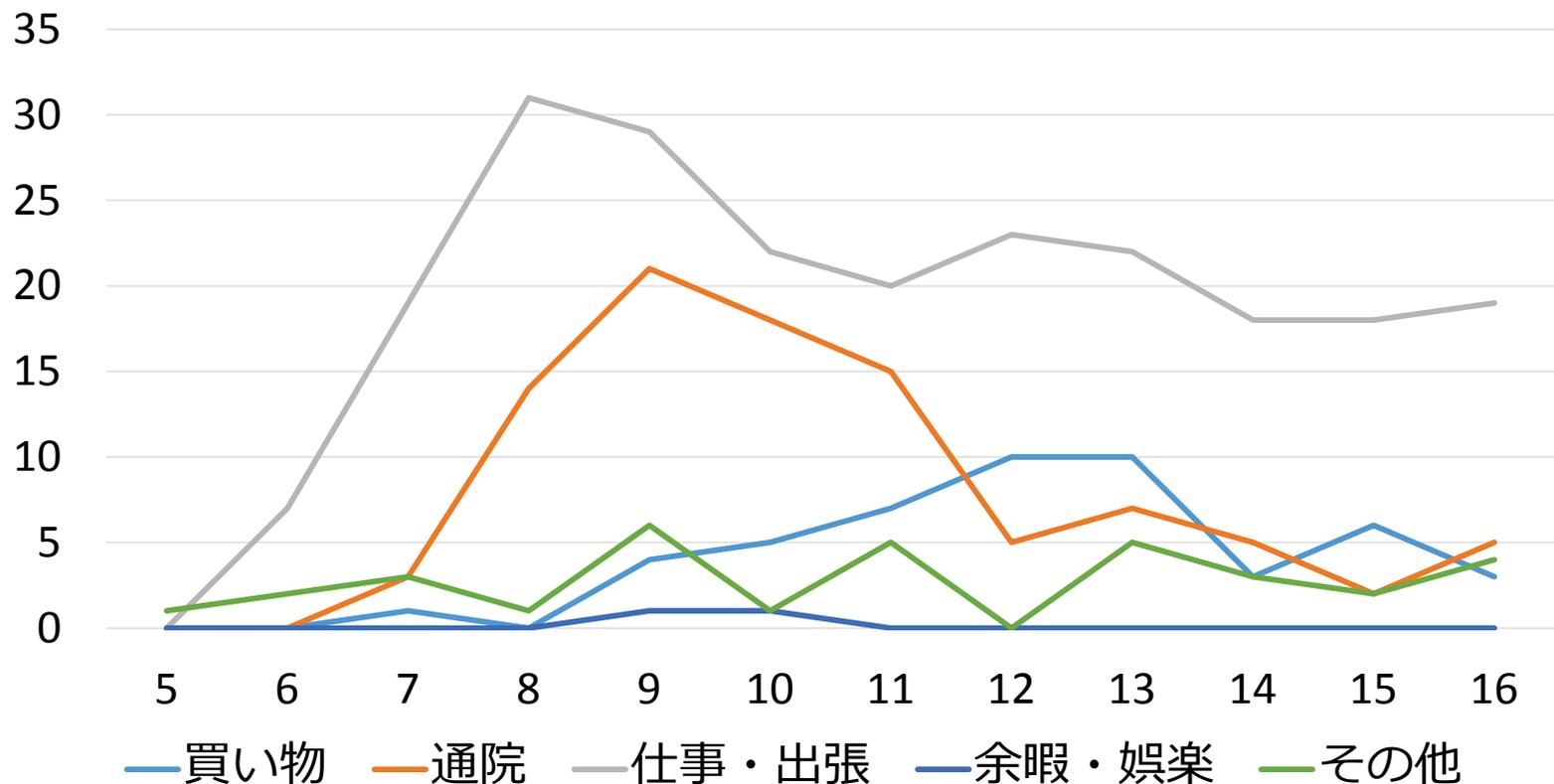
8～16時台においては、全体の運送件数の10～25%程度

高齢者のタクシー利用目的



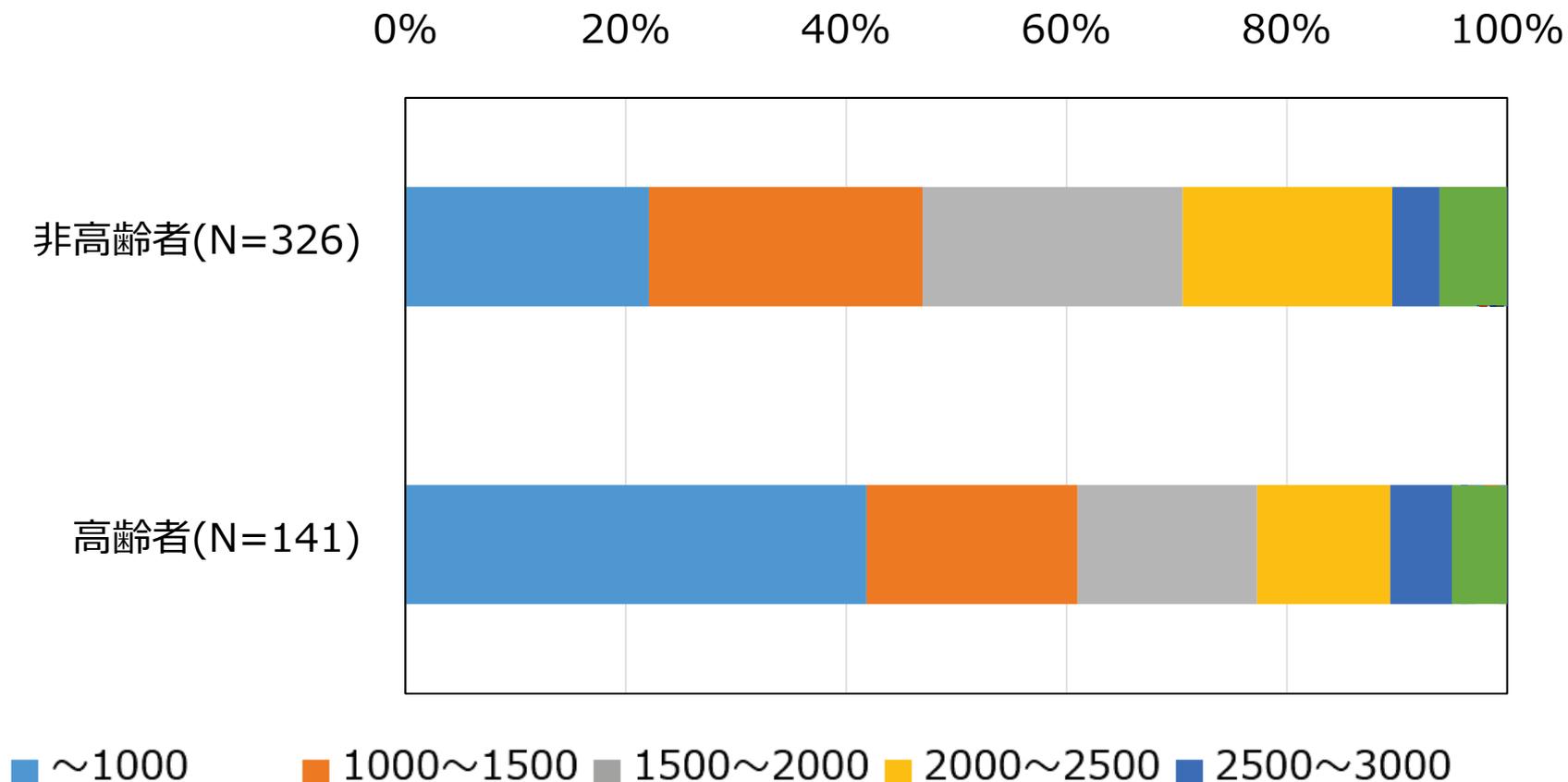
高齢女性は通院・買い物での利用割合が卓越

高齢者の目的別利用時間帯



通院は午前、買い物は昼頃という傾向

高齢者の利用運賃額



高齢者はタクシーを短距離で利用している傾向

② 高齢者の移動実態の把握

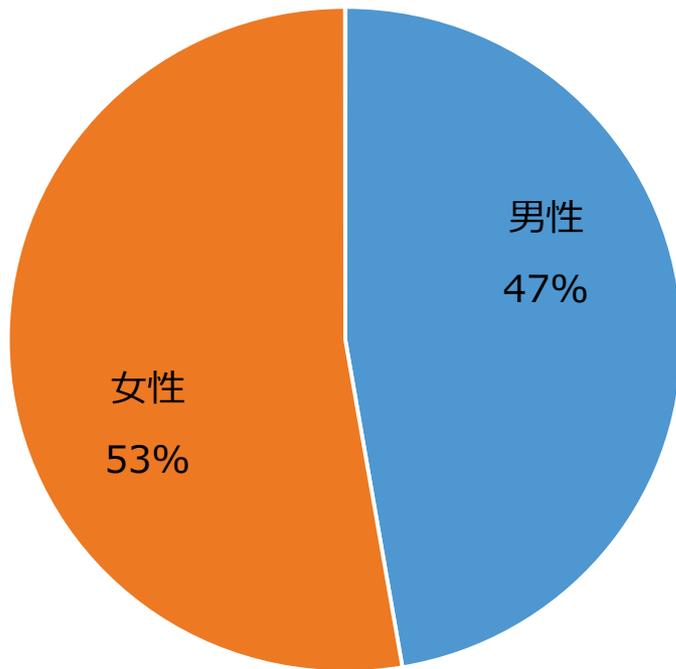
調査の概要

高齢者の移動実態とタクシー利用意向について把握するため、豊田市中心部の崇化館地区において高齢者を対象としたアンケート

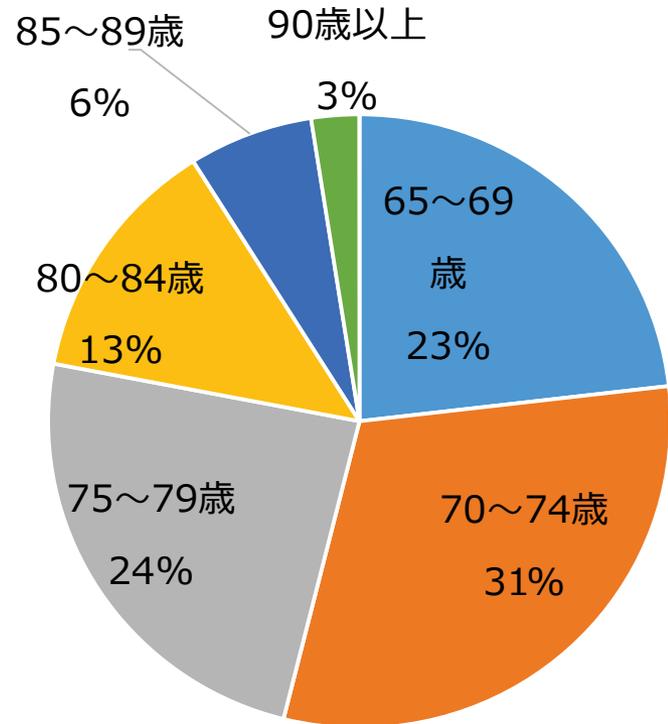
調査時期	2018/1/10に区長会で協力依頼後、2018/1/19（金）以降、各区長を通じて高齢者の居住する世帯に配布
配布地区	豊田市崇化館地区に所属する12自治区
配布部数	1010部（1部につき調査票を2枚封入）
回収期間	2018/1/19～2018/3/30
配布回収方法	区長によるポスティング配布、郵送による回収
回収数	1015通（50.2%※） ※配布枚数が2020枚であるため

回答者の性別・年齢

(N=998)

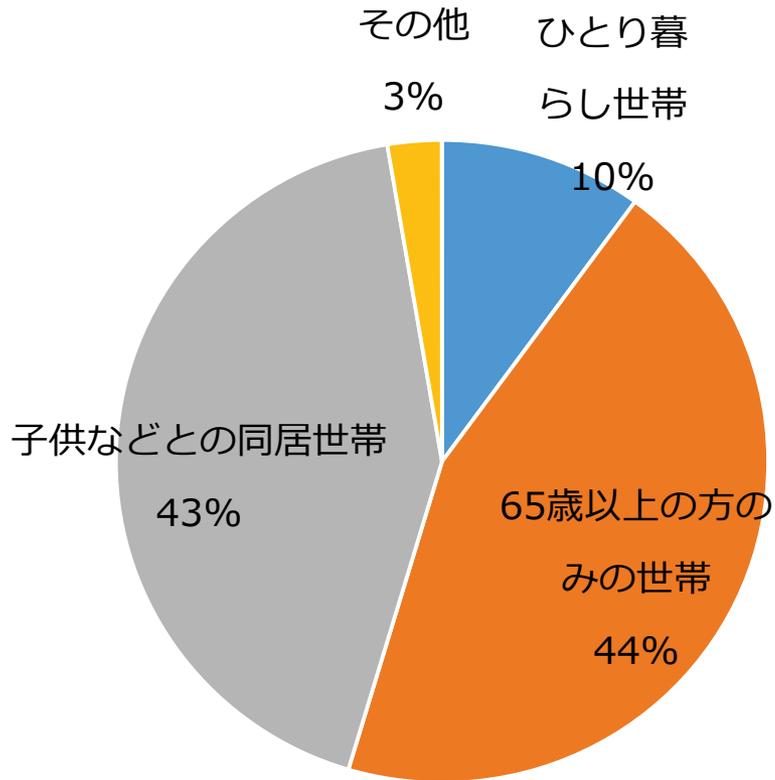


(N=1005)



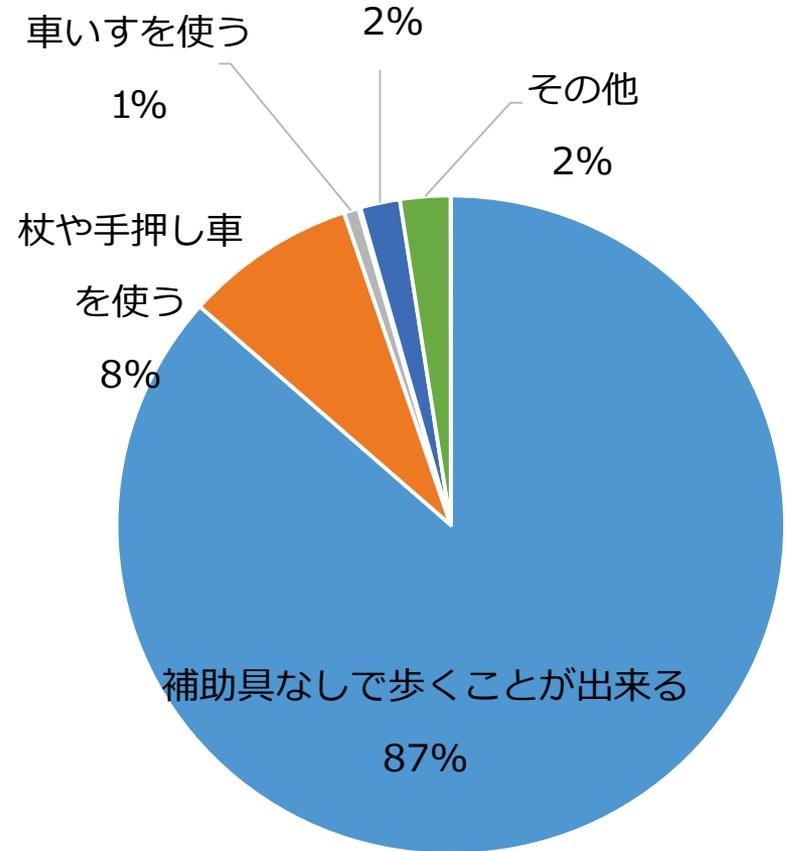
居住・歩行の状況

(N=1003)

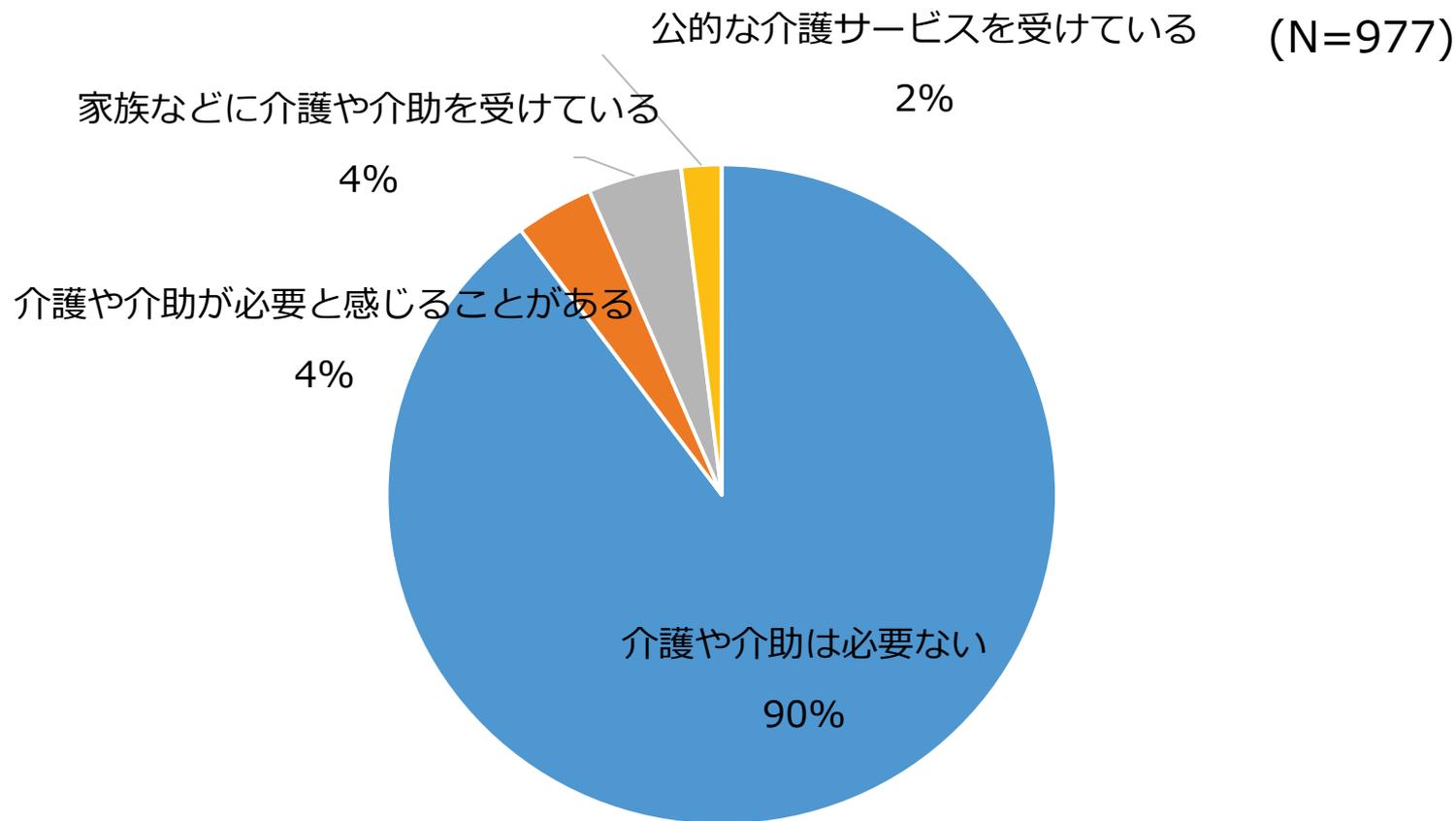


一人で移動できない

(N=986)

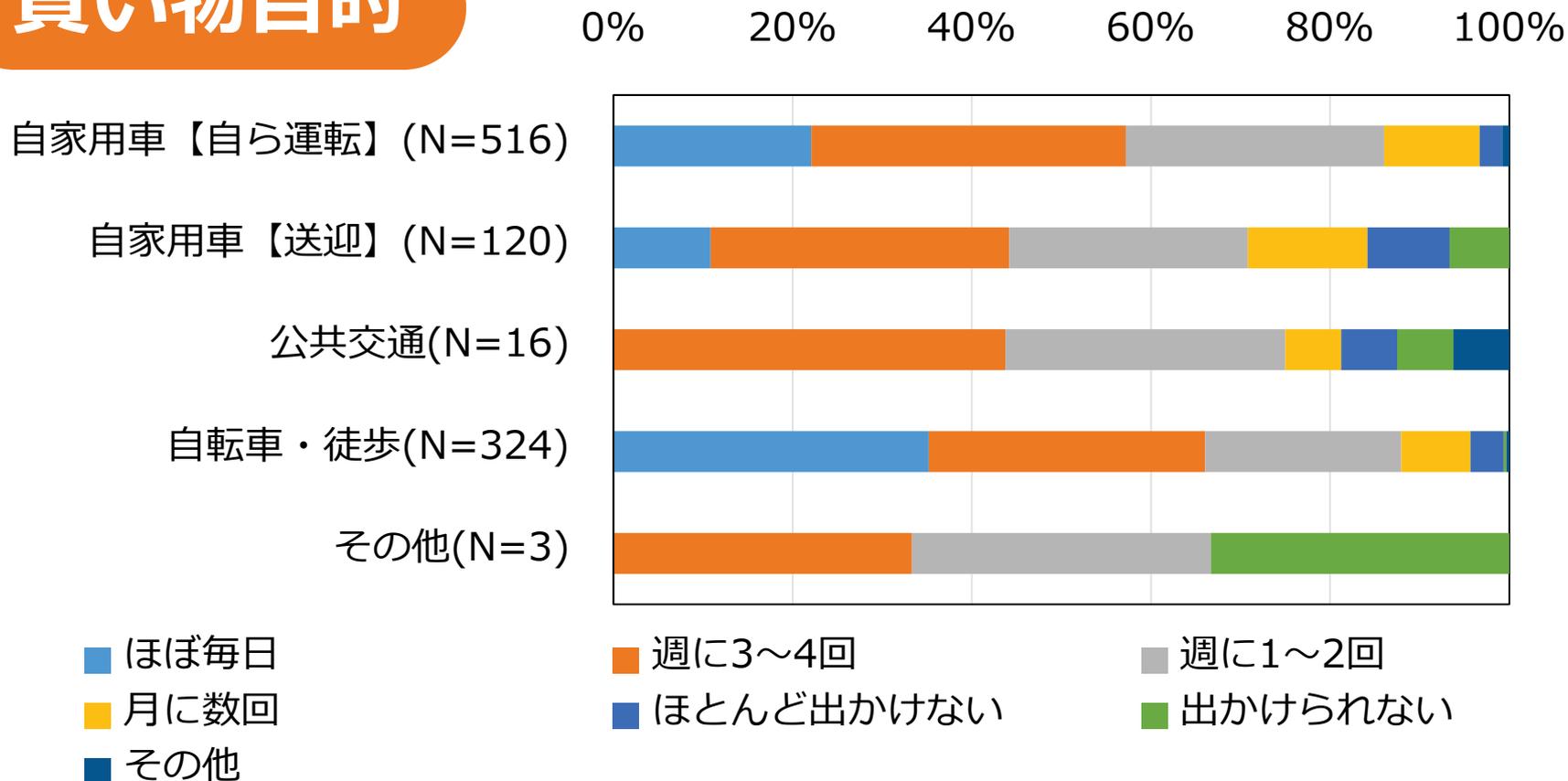


介護・介助の必要性



外出時の主な交通手段と外出頻度

買い物目的



自転車・徒歩 > 自家用車【自ら運転】 : 外出頻度が多い
公共交通・自家用車【送迎】 : 外出頻度がやや少ない

外出時の主な交通手段と外出頻度

通院目的

0% 20% 40% 60% 80% 100%

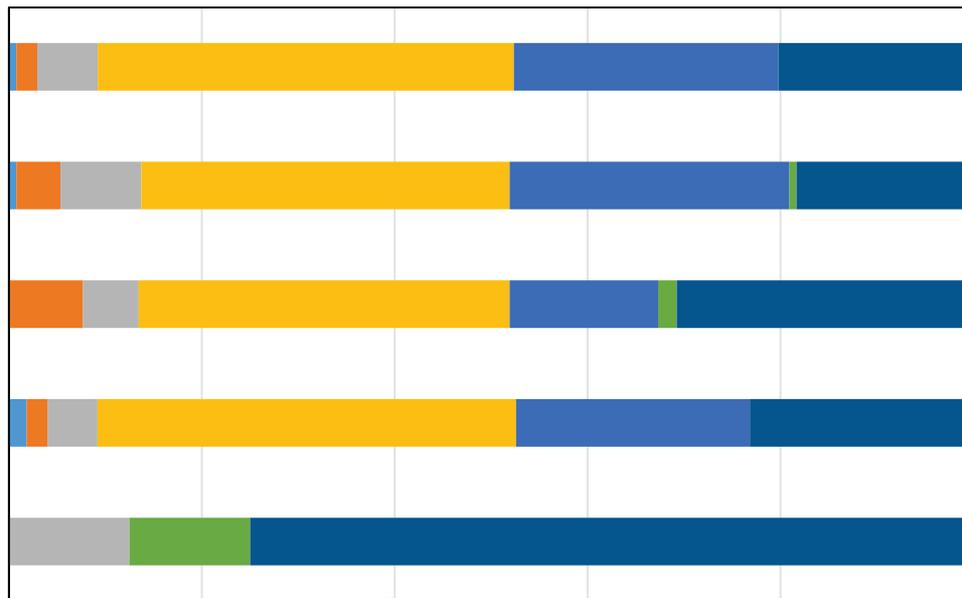
自家用車【自ら運転】(N=510)

自家用車【送迎】(N=131)

公共交通(N=52)

自転車・徒歩(N=272)

その他(N=8)



■ ほぼ毎日

■ 週に1~2回

■ 不定期 (病気やケガの時のみ)

■ その他

■ 週に3~4回

■ 月に数回

■ 出かけられない

公共交通利用：他の交通手段に比べて週3~4回の回答割合が多く、通院の頻度が高い

外出時の主な交通手段と外出頻度

娯楽目的

0% 20% 40% 60% 80% 100%

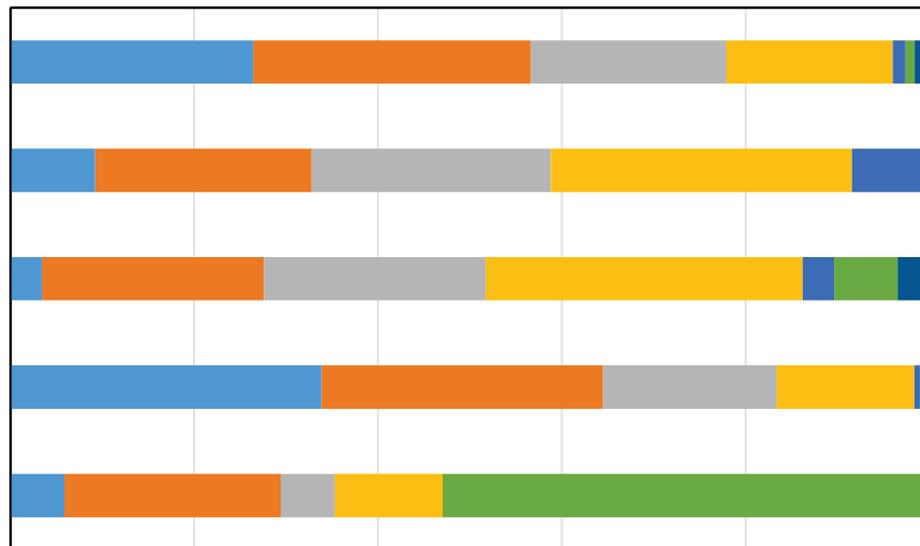
自家用車【自ら運転】(N=503)

自家用車【送迎】(N=119)

公共交通(N=29)

自転車・徒歩(N=307)

その他(N=17)



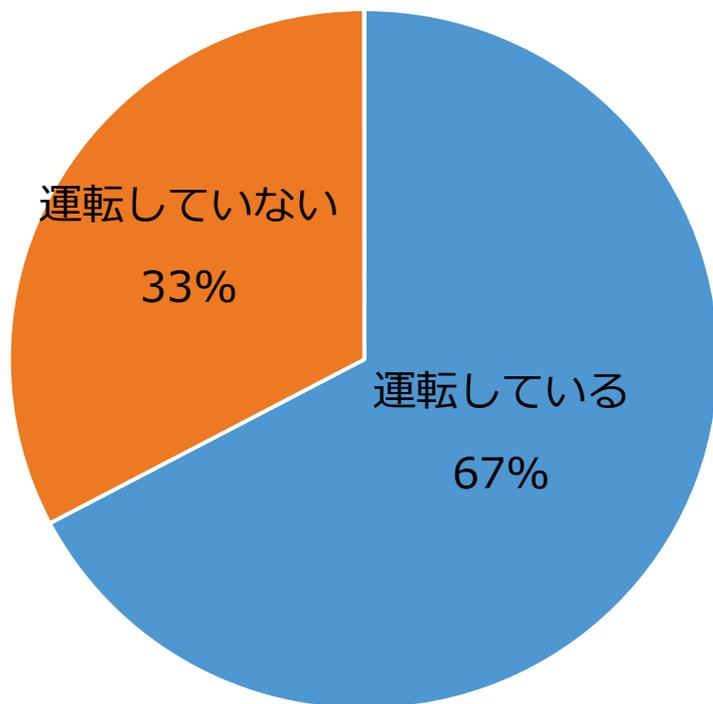
■ ほぼ毎日
■ 月に数回
■ その他

■ 週に3~4回
■ ほとんど出かけない
■ 週に1~2回
■ 出かけられない

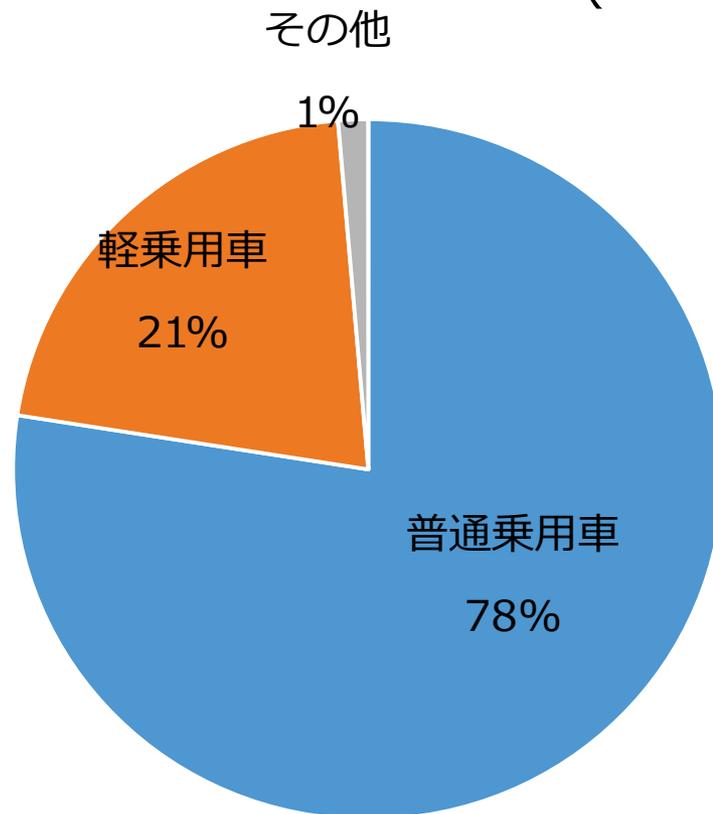
自転車・徒歩 > 自家用車【自ら運転】 > 自家用車【送迎】
> 公共交通の順に外出頻度が少なくなる

運転の有無と運転している車種

(N=904)

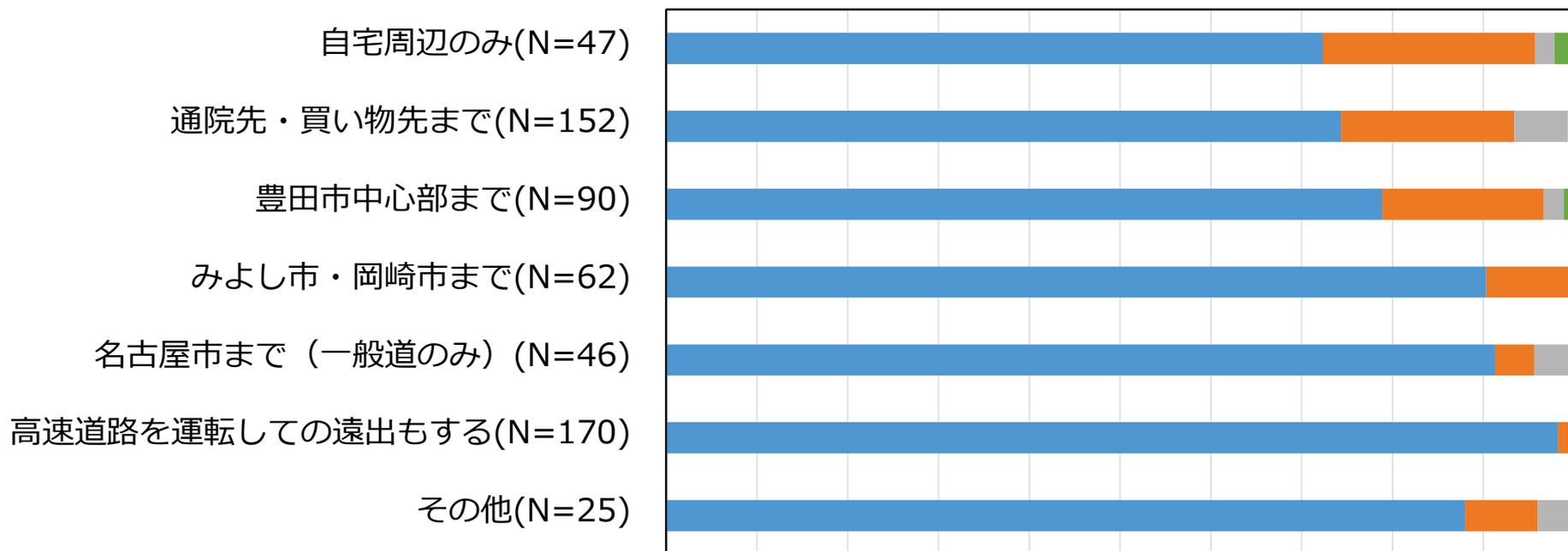


(N=586)



運転への抵抗感と運転の範囲

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 特に運転に抵抗はない

■ 家族から運転を控えるように言われている

■ 免許を返納した

■ なるべく運転したくないので運転は控えている

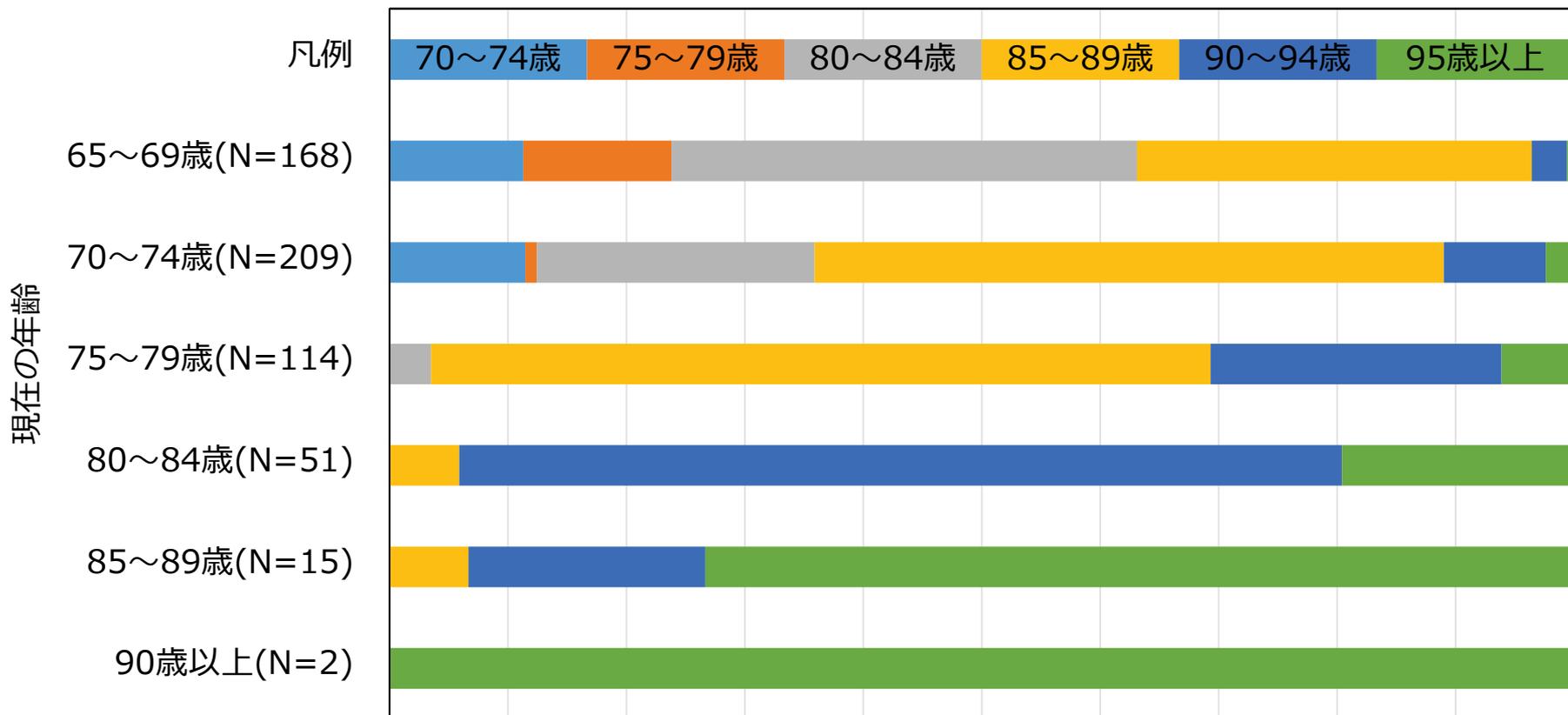
■ 免許を持っていない

■ 免許を返納していないが運転をやめた

運転に対する抵抗感が少ないほど、高速道路の利用や遠方まで運転

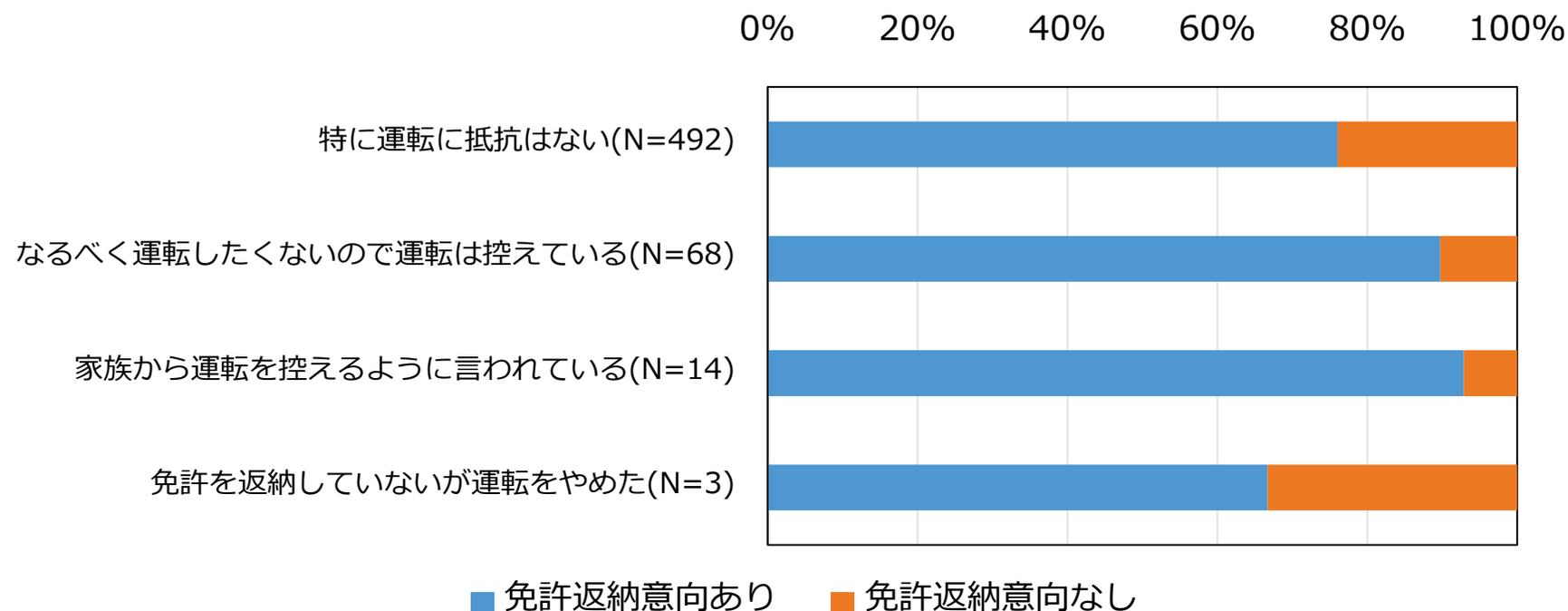
いつまで運転できると思うか

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



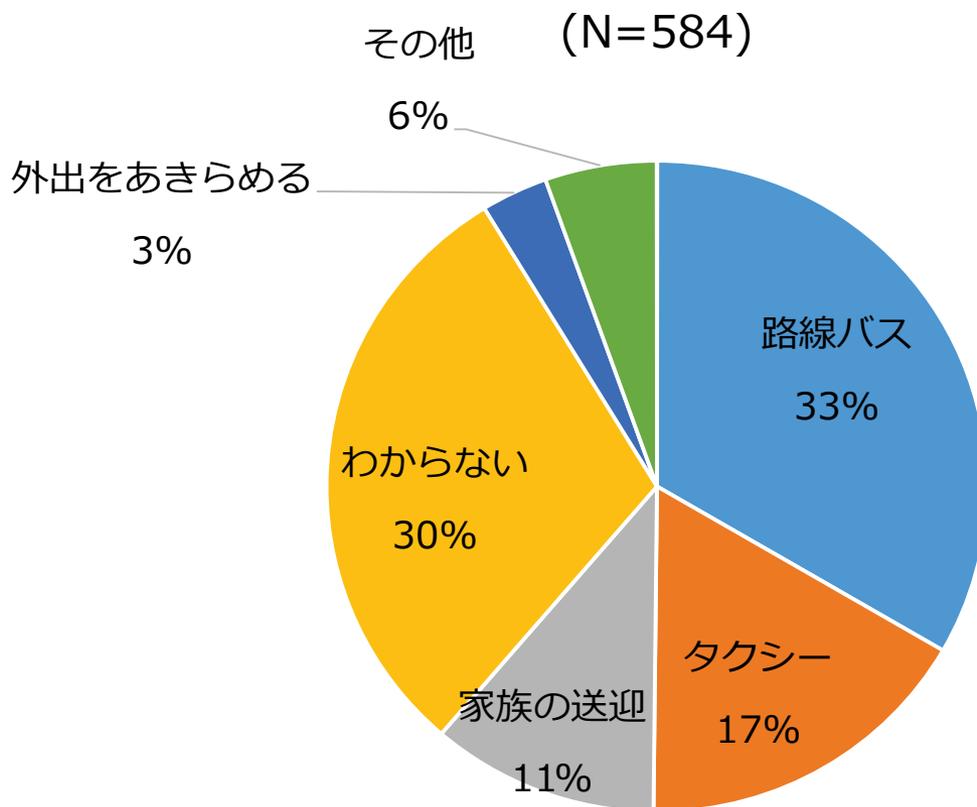
概ね現在の年齢に10を加えた程度の年齢までは運転が可能と考えている回答者が多い

運転への抵抗感と免許返納意向



運転に抵抗がない群においては免許返納の意向がやや少ない

運転を辞めた後の移動手段の想定



路線バスという回答が最も多く33%

タクシーという回答も17%存在

合わせると半数の回答者が公共交通機関の利用を想定

家族の送迎という回答は11%にとどまる

③ 高齢者へのタクシー利用意向 の把握

タクシーの支払意思額調査

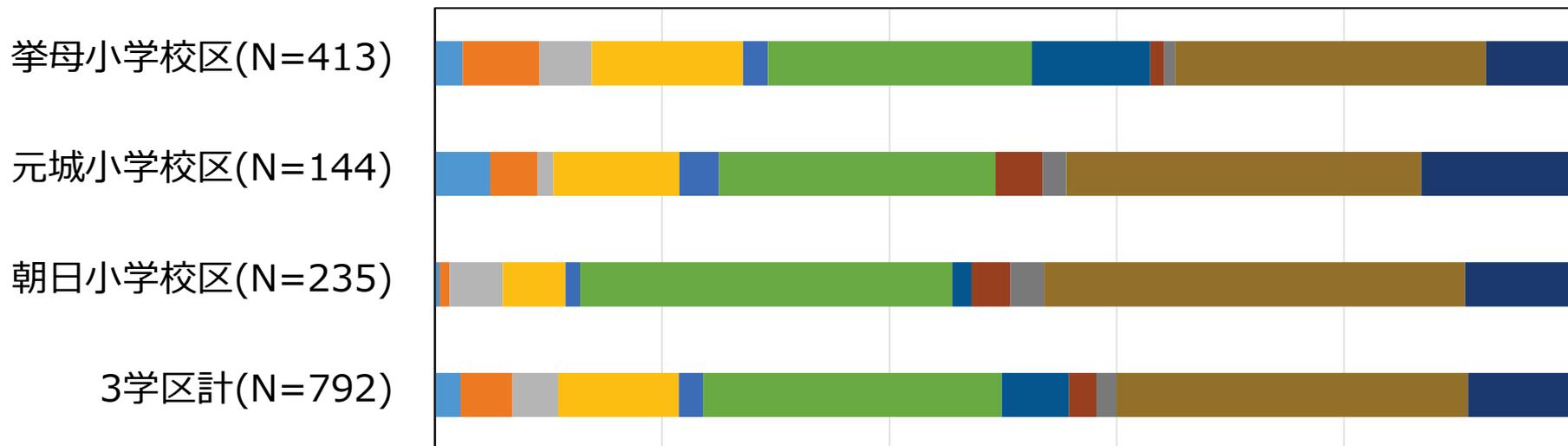
自家用車の運転をやめてタクシーを日常的に利用するとした場合の運賃支払意思額について質問

利用目的および目的地として買い物・遊びに出かける際には豊田市駅を、通院については豊田厚生病院を設定し、タクシーに乗車する場合の片道の支払意思額を回答いただいた

片道運賃		挙母小学校区	元城小学校区	朝日小学校区
豊田市駅 まで	タクシー	600円 (約1km)	780円 (約1.5km)	960円 (約2km)
	バス	100円 (若宮町5)	100円 (広路町)	200円 (朝日町7)
豊田厚生 病院まで	タクシー	1950円 (約5km)	2580円 (約6.5km)	1500円 (約3.5km)
	バス	300円 (若宮町5・豊 田市駅乗換)	300円 (広路町・豊田 市駅乗換)	200円 (朝日町7)

豊田市駅までの支払意思額

0% 20% 40% 60% 80% 100%



いずれの学区においても現行のタクシー運賃と同程度の支払を許容する結果

調査地域が豊田市中心部であり、タクシー料金が比較的安く移動できるためか

豊田厚生病院までの支払意思額

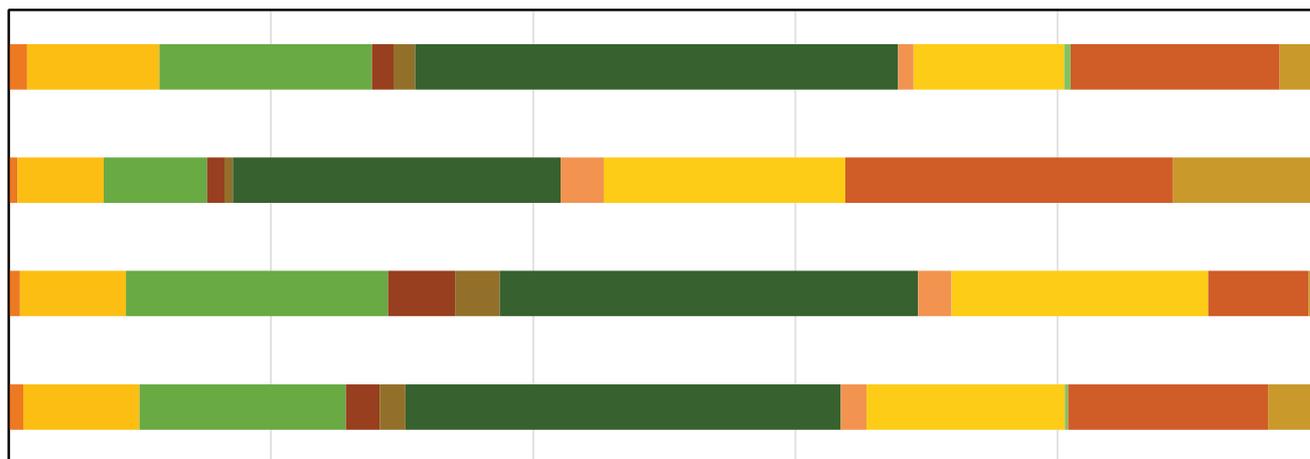
0% 20% 40% 60% 80% 100%

拳母小学校区(N=426)

元城小学校区(N=152)

朝日小学校区(N=235)

3学区計(N=813)



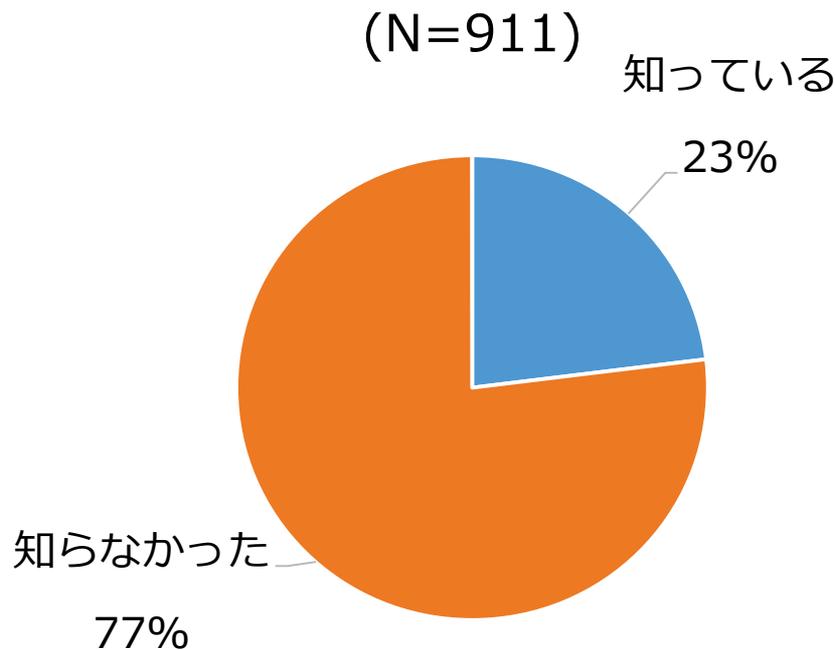
- 200円未満
- 200~400円
- 400~600円
- 600~800円
- 800~1000円
- 1000~1200円
- 1200~1400円
- 1400~1600円
- 1600~1800円
- 1800~2000円
- 2000円以上

現在のタクシー運賃の半額もしくはは1000円程度低廉な運賃を希望する結果

片道あたりの移動コストが2000円程度となると、ある程度の割引を希望する結果となるか

免許返納者割引制度の認知度

現在実施されているタクシーの免許返納割引制度
(70歳以上で免許返納者が運転経歴証明書を見せた場合、運賃が1割引になる制度) の認知状況

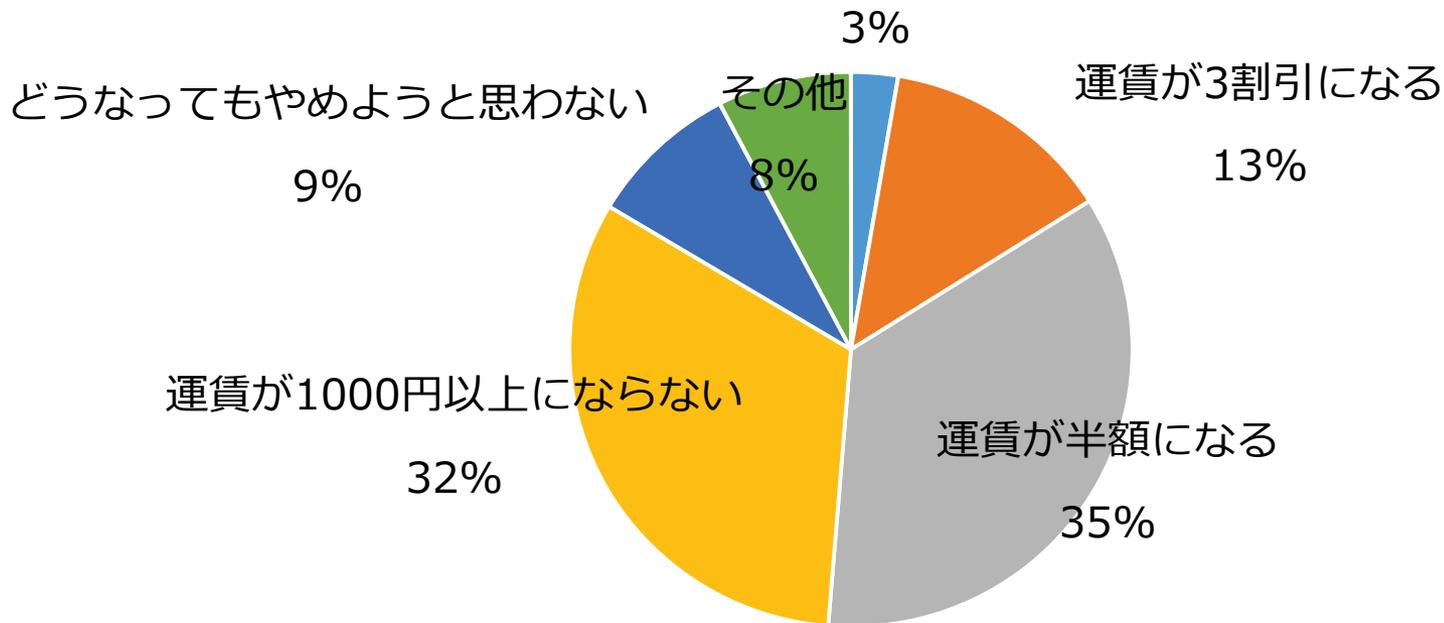


タクシーの割引の希望額

Q:タクシーの運賃がどの程度安くなれば、自家用車の運転をやめて普段の外出にタクシーを使おうと思うか？

(N=817)

運賃が1割引になる



高齢社会におけるタクシーを 活用した外出支援策の検討

調査の結果明らかとなったこと

【利用者アンケート調査から明らかになった高齢者のタクシー利用実態】

- 高齢者のタクシー利用は通院と買い物目的の利用が多く、その利用は午前中から午後の早い時間帯に集中している
- 娯楽目的での利用は少なく、高齢者のタクシー利用は生活必需の移動に限られる傾向が推察
- 利用者は女性が圧倒的に多く、男性の利用は少ない

【高齢住民向けアンケート調査から明らかになった高齢者の外出行動】

- 外出頻度において交通手段を問わず、買い物目的が最も多い傾向にあるものの、娯楽・趣味での外出頻度はそれに次ぐ
- 自家用車を運転して外出している割合が圧倒的に多いが、運転への抵抗を感じている人や、運転範囲を限っている人も存在
- おおむね現在より10年以内に自動車の運転が困難になるという風に認識している人が多く、その後の移動手段としては公共交通機関を想定
- タクシーの利用については、運賃が半額もしくは1000円で頭打ちになれば、日常的な外出に使ってもよいという回答が多い

タクシー活用策の方向性

予防介護の観点から、通院・買い物といった必需性の高い移動だけでなく、趣味娯楽といった自由目的での外出でも利用できるものとする

運賃抵抗を下げ、自家用車からの転換を促進するために、利用者の負担を現在のタクシー運賃の半額程度に抑える

タクシーを活用して免許返納後の移動手段を確保の有効性

高齢者の社会参加の機会の確保による効果

交通政策＋医療費の削減、健康長寿の実現といった観点からも有効

コミュニティバスなど新たな交通機関の整備も不要

昼間時は夜間に比べタクシーの需要が少ないため車両の有効活用にもつながる